

2017.3.25 様茶平（サマチャンペ） 碧い空に手が届いた山旅

C L 相馬、L 藤木晴・澤田、S L 藤木た・近藤、栗山、笹山、光浪、鳴原、藤田、小清水、資延、三浦、太田

登別山岳会員 8 名、山歩 G6 名 天候：晴れ/くもり、微風、気温：0~5℃

タイム：岡志別 7：30 発→三星 8：45→登山開始 9：29→最高到達点 12：07→昼食後出発 12：57

→駐車場 14：25

日の出も早くなり春の訪れを実感する一日、今日こそは様茶平の本当の頂上を目指そうと意気揚々と出発。が、支笏湖に近づくとつれづれ様子が一変。圧雪冬道に変貌、登山口の工事事務所付近は 15cm ほどの湿雪の積雪あり、まだまだ冬。本日が雪山デビュー



はじめる。あらかじめ相馬リーダーがつけておいてくれた目印をたよりに、快調に進んだ。が、だんだん傾斜がきつくなる。息が上がる。ふうふう。背後に立派な恵庭岳、支笏湖も見える。樽前・風不死、イチャンコッペに紋別岳見える



ーのお二人、紳士 S 氏が優しくエスコートします。歩きはじめ気温はプラス、風もなく全然寒くない。歓声を上げる新人さんお二人。つられて皆も、「楽しい〜〜〜」、ね。林道をしばらく歩き昨年よりずっと手前で疎林の中を尾根目指して登り



見える。恵庭岳テッペン岩頭の岩頭が間近。途中変な形の木を発見。M 氏、「様茶平のトトロ」と命名。その先、急登、本日一番の難所に一同難儀する。ようやく尾根に出た。が、その先がまだまだ長い。歩くうちに 12 時になり、タイムアップ、標高 935 m 付近、ちょっと平らなピークを本日の頂上とした。風もないのでツエルト張らずに昼食。これも春ならではの。下りは来た道に戻らず、別のパーティーのトレースをたどって降りてみることに。た



道よりは遠回りだったけどなだらかに下って、林道に降りる。登り 2 時間 40 分、下り 1 時間 30 分。頂上には行けなかったけれど、早春ならではの穏やかな天候の下、澄み切った碧い空にちょっぴり近づいた山旅でした。支笏湖休暇村で入浴。まだ明るいうちに帰宅。春ならではの。来年こそは、頂上で「かとちゃんパー」しましょうね。

太田記